



## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月28日

上場会社名 山崎製パン株式会社  
 コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 会田 正久  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	252,786	△2.3	5,875	7.2	6,423	11.7	3,056	3.3
2020年12月期第1四半期	258,768	△0.2	5,478	△4.2	5,750	△7.8	2,958	2.7

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 7,933百万円 (—%) 2020年12月期第1四半期 300百万円 (△95.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	14.21	—
2020年12月期第1四半期	13.61	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	721,028	355,385	44.8
2020年12月期	714,443	362,383	46.3

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 323,281百万円 2020年12月期 330,486百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	—	22.00	22.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	510,500	0.5	10,800	9.4	11,200	2.7	5,000	2.0	23.24
通期	1,037,000	2.2	21,500	23.3	23,200	17.6	10,100	45.2	46.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期1Q	220,282,860 株	2020年12月期	220,282,860 株
-------------	---------------	-----------	---------------

② 期末自己株式数

2021年12月期1Q	7,446,980 株	2020年12月期	2,891,607 株
-------------	-------------	-----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期1Q	215,113,586 株	2020年12月期1Q	217,391,294 株
-------------	---------------	-------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大を背景に1月上旬から3月下旬にかけて行われた緊急事態宣言により、先行き不透明感が強まり、個人消費は落ち込みました。

当業界におきましては、外出自粛やテレワークにより巣ごもり需要が拡大し、節約志向が強まる中で高級志向の動きも見られるなど消費行動が変化し、販売競争が激化する厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカリーなどの小売事業につきましては、オフィス街や駅中立地を中心に来店客数の減少もあり、売上が伸び悩む厳しい状況となりました。

このような情勢下にあります、当社グループは、緊急事態においてパン・和洋菓子類を緊急食糧として提供するという社会的使命のもと、21世紀のヤマザキの経営方針に基づき、新型コロナウイルス感染拡大の中で製品の安定供給を確保するため、パート、アルバイトを含めた全従業員に対して検温を実施し、病状が重症化する前の37.2℃以上の発熱がある従業員は自宅待機とすることに加え、発熱がない場合でも倦怠感や味覚・嗅覚がない等の体調異常の自覚症状がある場合には自宅待機とし、この自宅待機者数を日々管理するとともに、マスクの着用やうがい、手洗い、アルコール消毒の徹底、WEB会議等を活用し事業所間の出張を制限するなど、新型コロナウイルス感染防止対策の実施を徹底いたしました。また、多人数による会食の原則禁止や感染の恐れの高い施設の利用を原則禁止とするなど、公衆衛生上の遵守事項の徹底をはかり、社会的使命の達成に全力を挙げて取り組んでまいりました。

このような状況の中で、当社グループは、新型コロナウイルス感染防止対策の上に行う業績向上対策として、「いのちの道」の教えの言葉とピーター・ドラッカー博士の5つの質問を連動させる「our mission, my mission」、「精度を上げたmy missionと永続するour missionの実践、実行、実証と日次管理・週次決算」の経営手法によって、ルヴァン種等を活用した品質向上に積極的に取り組むとともに、複数個入りの値頃感のある製品を充実する一方で、高品質・高付加価値・高単価製品や健康志向製品を開発するなど、営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、業績向上をめざしました。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、ヤマザキパンの営業部門の最前線にある小売事業として日次管理・週次決算に取り組み、日々の仕事の精度を高め、デイリーホットやヤマザキグループの商品を中心としたヤマザキらしいお店づくりを進めるとともに、松戸ドミナントプロジェクトでの成果を基にした店舗改装を進め、業績改善をめざしました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は2,527億86百万円(対前年同期比97.7%)、営業利益は58億75百万円(対前年同期比107.2%)、経常利益は64億23百万円(対前年同期比111.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億56百万円(対前年同期比103.3%)となり、新型コロナウイルス感染拡大の影響により厳しい状況が続く中、原材料費や光熱費等の減少もあり増益となりました。

セグメント別の状況

## &lt;食品事業&gt;

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

## ①食パン部門(売上高231億49百万円、対前年同期比96.0%)

食パンは、主力の「ロイヤルブレッド」や「ダブルソフト」が伸長しましたが、外出自粛やテレワークの影響によりサンドイッチ用食材食パンの売上減少もあり、前年同期の売上を下回りました。

## ②菓子パン部門(売上高875億4百万円、対前年同期比97.6%)

菓子パンは、「薄皮つぶあんぱん」のミニパンや「ベイクワン」シリーズなど買い置き需要に対応した複数個入り製品が好調に推移し、「フレンチクルーラー」などチルド菓子パンが寄与しましたが、(株)ヴィ・ド・フランスなどのフレッシュベーカリーの不振や米国子会社の売上逸失の影響もあり、前年同期の売上を下回りました。

## ③和菓子部門(売上高179億24百万円、対前年同期比95.6%)

和菓子は、主力の串団子が堅調に推移するとともに、チルド製品の「北海道チーズ蒸しケーキのとろけるプリン」が寄与しましたが、主力のまんじゅう、大福やホットケーキなどが伸び悩み、前年同期の売上を下回りました。

## ④洋菓子部門（売上高364億17百万円、対前年同期比103.6%）

洋菓子は、高品質・高付加価値・高単価製品を投入した2個入り生ケーキが伸長するとともに、主力の「まるごとバナナ」やコンビニエンスストア向け製品が好調に推移しました。さらに、(株)不二家の洋菓子チェーンの売上が好調に推移したこともあり、前年同期の売上を上回りました。

## ⑤調理パン・米飯類部門（売上高328億48百万円、対前年同期比89.5%）

調理パン・米飯類は、(株)サンデリカにおいて、主力のおにぎりやサンドイッチを中心に主要コンビニエンスストアチェーンとの取引が減少し、前年同期の売上を下回りました。

## ⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高394億32百万円、対前年同期比100.3%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の「カントリーマアム チョコまみれ」や(株)東ハトの「キャラメルコーン」、ヤマザキビスケット(株)の「エアリアル」が堅調に推移し、前年同期の売上を確保しました。

以上の結果、食品事業の売上高は2,372億77百万円（対前年同期比97.4%）、営業利益は63億27百万円（対前年同期比114.1%）となりました。

## &lt;流通事業&gt;

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、直営店舗数の増加により営業総収入は123億63百万円（対前年同期比102.6%）となりましたが、人件費等コストの増加もあり11億50百万円の営業損失（前年同期は7億86百万円の営業損失）となりました。

## &lt;その他事業&gt;

その他事業につきましては、売上高は31億45百万円（対前年同期比104.8%）、営業利益は5億71百万円（対前年同期比100.3%）となりました。

## (2)財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は7,210億28百万円で、前連結会計年度末に対して65億84百万円増加しました。流動資産は2,611億17百万円で、新規借入金等による現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末に対して48億62百万円増加しました。固定資産は4,599億10百万円で、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に対して17億22百万円増加しました。負債合計は3,656億42百万円で、新規借入金の増加等により、前連結会計年度末に対して135億82百万円増加しました。純資産は3,553億85百万円で、自己株式の取得等により、前連結会計年度末に対して69億98百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は44.8%となりました。

## (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、新型コロナウイルスについて、ワクチンの接種が開始されたものの、変異株の感染者の増加もあり再び緊急事態宣言が出されるなど収束の見通しが立たず、景気は先行き不透明感が続くものと予測されます。

当業界におきましては、販売競争が激化する中で、主原料の小麦粉や卵、油脂など原材料価格の上昇が見込まれており、収益が圧迫される厳しい経営環境になるものと思われまます。

このような状況下にあります、当社グループは、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底につとめるとともに、「いのちの道」の教えの言葉とピーター・ドラッカー博士の5つの質問を連動させる「our mission, my mission」、「精度を上げた my mission と永続する our mission の実践、実行、実証と日次管理・週次決算」の経営手法によって、高級食パンをはじめとする高品質・高付加価値・高単価製品の開発を強化するなど、営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略を推進し、新しい価値と新しい需要を創造して業績向上をめざしてまいります。(株)サンデリカの調理パン・米飯類につきましては、販路の拡大に取り組むとともに、チルド弁当等の充実強化をはかり、業績回復をめざしてまいります。また、デイリーヤマザキやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、日次管理・週次決算に徹底して取り組み、変化するお客様のニーズを的確に捉えて迅速に対応し、業績回復をめざしてまいります。

なお、2021年2月12日付にて公表した第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	108,588	137,125
受取手形及び売掛金	112,639	91,170
商品及び製品	11,966	11,654
仕掛品	788	795
原材料及び貯蔵品	10,442	9,559
その他	12,212	11,190
貸倒引当金	△382	△377
流動資産合計	256,255	261,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	390,037	390,621
減価償却累計額	△286,569	△288,009
建物及び構築物 (純額)	103,467	102,612
機械装置及び運搬具	521,328	522,125
減価償却累計額	△436,800	△439,944
機械装置及び運搬具 (純額)	84,528	82,180
工具、器具及び備品	36,767	36,867
減価償却累計額	△28,405	△28,703
工具、器具及び備品 (純額)	8,362	8,163
土地	110,593	110,593
リース資産	10,238	11,147
減価償却累計額	△6,315	△6,467
リース資産 (純額)	3,923	4,680
建設仮勘定	4,697	6,328
有形固定資産合計	315,572	314,558
無形固定資産		
のれん	12,030	11,546
その他	9,451	9,628
無形固定資産合計	21,481	21,175
投資その他の資産		
投資有価証券	68,442	73,808
長期貸付金	824	843
退職給付に係る資産	378	382
繰延税金資産	25,409	23,431
その他	28,747	28,363
貸倒引当金	△2,668	△2,652
投資その他の資産合計	121,134	124,176
固定資産合計	458,188	459,910
資産合計	714,443	721,028

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,466	69,272
短期借入金	50,716	53,089
リース債務	1,499	1,638
未払法人税等	6,179	3,497
未払費用	40,079	36,167
賞与引当金	4,571	13,329
販売促進引当金	1,232	1,276
資産除去債務	1	11
その他	37,214	30,755
流動負債合計	216,962	209,038
固定負債		
長期借入金	16,601	37,724
リース債務	2,879	3,587
役員退職慰労引当金	4,072	4,115
環境対策引当金	1	1
退職給付に係る負債	100,222	99,888
資産除去債務	4,744	4,730
その他	6,575	6,555
固定負債合計	135,098	156,603
負債合計	352,060	365,642
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,660	9,635
利益剰余金	299,251	297,524
自己株式	△5,241	△14,816
株主資本合計	314,684	303,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,168	28,865
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	91	△207
退職給付に係る調整累計額	△9,556	△8,833
その他の包括利益累計額合計	15,802	19,923
非支配株主持分	31,896	32,104
純資産合計	362,383	355,385
負債純資産合計	714,443	721,028

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	258,768	252,786
売上原価	166,561	162,416
売上総利益	92,206	90,370
販売費及び一般管理費	86,728	84,494
営業利益	5,478	5,875
営業外収益		
受取利息	26	39
受取配当金	75	65
固定資産賃貸収入	225	223
持分法による投資利益	92	113
為替差益	-	324
雑収入	247	253
営業外収益合計	667	1,019
営業外費用		
支払利息	168	178
固定資産賃貸費用	84	74
雑損失	143	217
営業外費用合計	395	471
経常利益	5,750	6,423
特別利益		
固定資産売却益	14	25
助成金収入	-	※1 157
その他	-	8
特別利益合計	14	191
特別損失		
固定資産除売却損	209	205
その他	37	113
特別損失合計	247	319
税金等調整前四半期純利益	5,518	6,295
法人税等	2,493	2,774
四半期純利益	3,025	3,521
非支配株主に帰属する四半期純利益	67	465
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,958	3,056



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	3,025	3,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,474	3,709
繰延ヘッジ損益	1	-
為替換算調整勘定	9	△24
退職給付に係る調整額	728	721
持分法適用会社に対する持分相当額	9	5
その他の包括利益合計	△2,724	4,412
四半期包括利益	300	7,933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361	7,177
非支配株主に係る四半期包括利益	△61	755

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式4,555,100株の取得を行っております。この結果等により、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が9,575百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が14,816百万円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

日本では再度の緊急事態宣言が発令される等、新型コロナウイルス感染症の拡大については、今後の収束時期や影響の程度を予測することは困難な状況にあります。新型コロナウイルス感染症の影響は2021年度末までは継続するものと仮定して、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性にかかる会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は不確実性があり、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

また、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 助成金収入

新型コロナウイルス感染症に伴う政府による緊急事態宣言や各自治体からの営業時間短縮要請に応じたフレッシュベーカリー等小売事業において営業時間の短縮を実施いたしました。

当該営業時間短縮による協力金等は、「助成金収入」として特別利益に計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	243,718	12,045	3,003	258,768	—	258,768
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,163	1,537	8,648	12,350	△12,350	—
計	245,882	13,583	11,651	271,118	△12,350	258,768
セグメント利益又は損失(△)	5,545	△786	570	5,329	149	5,478

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額149百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	237,277	12,363	3,145	252,786	—	252,786
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,122	1,605	8,696	12,424	△12,424	—
計	239,399	13,968	11,842	265,211	△12,424	252,786
セグメント利益又は損失(△)	6,327	△1,150	571	5,749	126	5,875

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額126百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 連結販売実績

(単位: 百万円)

セグメント名称	区 分	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	24,118	9.3%	23,149	9.2%	△ 969	96.0%
	菓 子 パ ン	89,669	34.7	87,504	34.6	△ 2,165	97.6
	和 菓 子	18,757	7.2	17,924	7.1	△ 832	95.6
	洋 菓 子	35,157	13.6	36,417	14.4	1,260	103.6
	調理パン・米飯類	36,694	14.2	32,848	13.0	△ 3,845	89.5
	製菓・米菓・その他商品類	39,321	15.2	39,432	15.6	110	100.3
	食 品 事 業 計	243,718	94.2	237,277	93.9	△ 6,441	97.4
流 通 事 業	12,045	4.6	12,363	4.9	317	102.6	
そ の 他 事 業	3,003	1.2	3,145	1.2	142	104.8	
合 計	258,768	100.0	252,786	100.0	△ 5,981	97.7	

## (2) 主要子会社実績

(単位: 百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
(株)不二家(連結)	24,370	25,362	992	4.1%	148	938	790	532.9%
(株)サンデリカ	28,165	24,874	△3,290	△11.7	284	15	△ 268	△94.4
ヤマザキビスケット(株)	8,102	8,095	△ 6	△ 0.1	64	303	238	370.5
(株)東ハト	6,878	7,384	505	7.4	265	341	75	28.4
(株)ヴィ・ド・フランス	7,003	5,854	△1,148	△16.4	△ 473	△ 723	△ 250	—

## (3)2021年12月期第1四半期の単体業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

## ①単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	183,772	△1.7	5,007	△1.4	6,011	2.9	4,026	2.8
2020年12月期第1四半期	186,922	0.7	5,081	23.9	5,841	10.0	3,916	22.1

## ②単体財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
2021年12月期第1四半期	548,709	297,071
2020年12月期	534,510	303,789

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## (4)単体販売実績

(単位:百万円)

期別 品 種 別	前第1四半期 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)		当第1四半期 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	24,342	13.0%	23,360	12.7%	△ 981	96.0%
菓子パン	82,584	44.2	82,108	44.7	△ 476	99.4
和菓子	18,900	10.1	18,061	9.8	△ 839	95.6
洋菓子	27,207	14.5	28,551	15.6	1,344	104.9
調理パン・米飯類	12,869	6.9	11,441	6.2	△ 1,427	88.9
製菓・米菓・その他商品類	10,810	5.8	9,700	5.3	△ 1,109	89.7
小計	176,714	94.5	173,224	94.3	△ 3,490	98.0
デイリーヤマザキ事業	13,583	7.3	13,968	7.6	385	102.8
内部消去	△ 3,376	△ 1.8	△ 3,420	△ 1.9	△ 44	—
合計	186,922	100.0	183,772	100.0	△ 3,149	98.3

## (5)単体営業利益増減の内訳

(単位:百万円)

	2020年 第1四半期		2021年 第1四半期		増減額	増減率 (%)
	金額	%	金額	%		
営業利益						
山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)	5,867	3.3	6,157	3.6	290	4.9
デイリーヤマザキ事業	△ 786	△ 5.8	△ 1,150	△ 8.2	△ 363	—
合計	5,081	2.7	5,007	2.7	△ 73	△ 1.4

## &lt;山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)増減内訳&gt;

(単位:百万円)

	2020年 第1四半期		2021年 第1四半期		増減額	増減率 (%)	営業利益増減要因
	金額	%	金額	%			
売上総利益	56,814	32.2	56,278	32.5	△ 535	△ 0.9	売上高の減少 ▲ 1,121 原材料費の減少 429 労務費の増加 ▲ 442 経費の減少 319 償却費の減少 20 その他 260
販売費及び一般管理費	50,946	28.8	50,121	28.9	△ 825	△ 1.6	人件費の減少 31 経費の減少 780 償却費の減少 14

(注) 「営業利益増減要因」欄で▲は営業利益のマイナス影響を表しています。

「%」欄は山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)の売上高に対する比率を記載しています。